

特集 松下電器の「破戒」と「創像」

平成15年7月8日発行(隔週火曜日発売)第38巻第13号(通巻754号)昭和45年9月3日第3種郵便物認可

主張する経済誌

2003 JULY

7.8

No.754

定価 600yen

経済界

連載快調!

竹村健一

「御意見番参上!」

森田 実

「永田町風速計」

表紙の人・小島奈津子
フリーアナウンサー

悲願の「利益1千億円」を宣言した三菱商事の賭け

体制一新!

旭化成の“ダボハゼ経営”はこう変わる

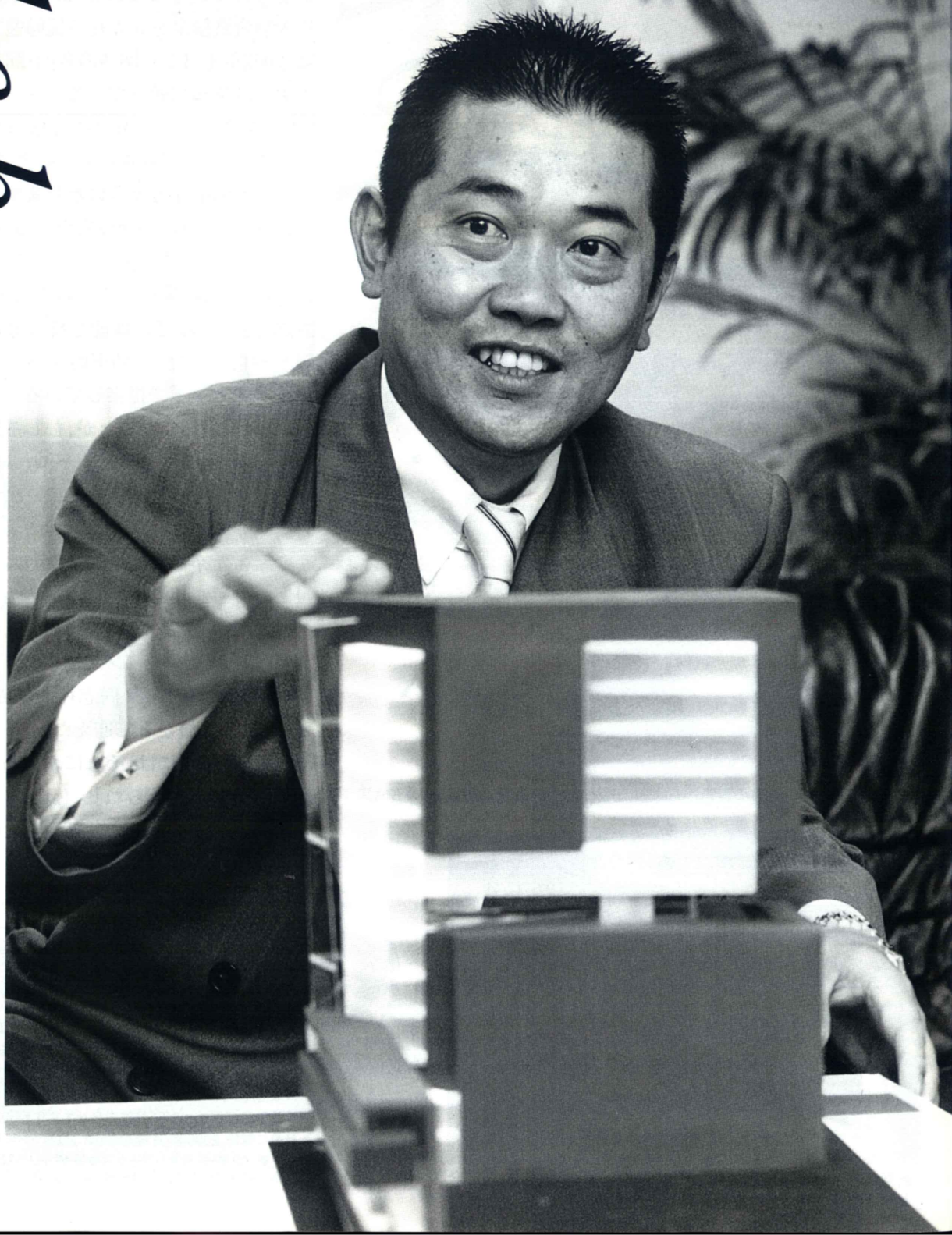
「H-Y戦争」再び?

好調ヤマハ発動機の思惑

celeb

セレブ・話題の人

中卒・元プロボクサーの企業家が
大検突破で同志社大生に!
年商110億円企業オンテックスを率いる
小笹公也CEOはあくまでハンタリー





授業を受ける際には予習、復習を欠かさない。目標は卒業ばかりか「MBAの取得」と言い切る

Celeb セレブ・話題の人

今や学生企業家は珍しくもないが、企業家が学生になったら、これはニュースだ。しかも、中卒で元プロボクサー、一介の塗装見習いから身を起こして、21歳で起業、今期(2004年3月期)の年商は110億円を計画する急成長企業を率いているのである。2001年に大学入学資格検定を3カ月の猛勉強で突破。2002年4月から関西の名門・同志社大学の商学部に通っている。

「大学院まで行ってMBAを取るつもりです。トップが勉強していると、社員も幹部も勉強するようになりますよ」

まさしく、無言の社員教育だろう。オンテックスが急拡大している秘密は、徹底した技術へのこだわりにある。断熱、防カビなどの機能を持たせた塗料を独自に開発し、効率的な施工方法までワンセットで提案している。

「バブルが崩壊したことが、むしろ追い風です。新築の住宅やビルが減れば、それだけ補修やリフォームが増えますから」

今年是新卒を700名以上採用し、一躍世間の注目を集めた。

「大手が採用を控えている今こそ、いい人材を確保するチャンスです」

と、狙いは明快だ。同志社大学の“先輩”も新入社員として迎えた。

「上場を目指すには、それにふさわしい社員も必要ですからね」

小笹氏の目には、風格ある自社の未来像が映っているに違いない。

Profile

オンテックス代表取締役会長兼CEO

小笹公也氏

1963年4月1日生まれ、大阪府出身。78年3月大阪市立文の里中学卒業後、塗装業でアルバイトをしながらプロボクサーを目指す。81年2月プロボクサーライセンス取得。81年3月株式会社エノモト入社。84年7月オザサ塗装工業創業。88年5月株式会社オザサを設立し、社長に就任。2000年7月株式会社オンテックスに社名を変更。02年1月オンテックス会長兼CEOに就任。



朝の取締役会議を終えし談笑後、次の役職会議が行われる会場へ急ぎ向かった



今でも、ときに第一線の現場で汗を流す。「現場は私たちの原点。組織が大きくなっても私自身が現場に立つことが大事なんです」



若手社員とのコミュニケーションを図るため、たまに各セクションを訪れ近況などを尋ねる



大学の図書室を訪れ、その蔵書の多さに驚く。「忙しくて、今まで来る機会がなかったのでびっくりしました。これからは大いに活用しようと思います」



授業の都合上、朝出社できるのは週に2日。会社でも学校でも、片時もパソコンを離さず社員との連絡を取る



講義終了後、今日の講義内容や課題などを話題に友人と談笑

大学のクラスメイトと懇親会(う)のためちよつと居酒屋へ。談論風発で、活発な意見交換が行われた



「車は会長と学生をやっていく上での武器のひとつです。授業の合間に、ここから会社にパソコンで指示ができますから」



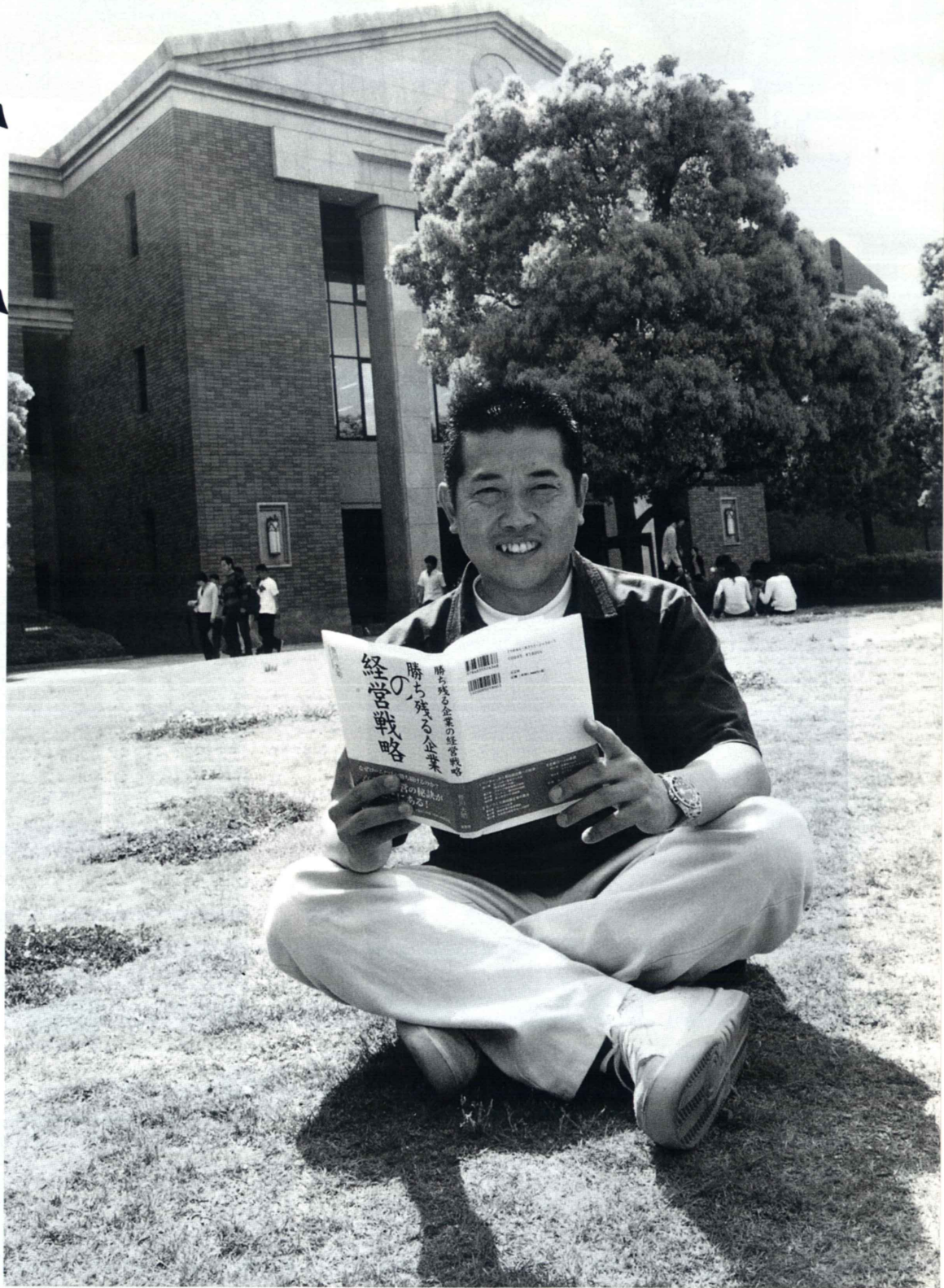
役職会議前に今月のベスト支店長賞の表彰が行われた。「各支店長の励みにもなるし、若い社員の方の目標のひとつにもなっています」



現在請け負っている市内の現場を訪れ、現場監督から進捗状況と今後の見通しの報告を受ける。「請け負った仕事は最後まできちんと仕上げて当たり前。これがわが社のポリシーですから」

Celeb

セレブ・話題の人



会社の最高経営責任者と大学生という2つの肩書を持ち、精力的にこなしていくその原動力は、小笹氏がボクサー時代に培った根性と不屈の精神。最近あまり語られなくなったこの二言で、小笹氏は大きな目標に向かって一歩一歩確実に前進している

(撮影/山口 朗)